



「いきいきサロン」のこれから・・・

美濃加茂市社会福祉協議会 酒向紘一事務局長

地域住民の自発的な支え合い活動

「ふれあい・いきいきサロン」事業を推進

急激に高齢化が進む中で、日常生活の基盤であり、もともと身近な地域社会において、高齢者の孤独感の解消や寝たきり、痴ほう予防を図ることが求められています。

高齢者が、寝たきりや痴ほうになる最大の原因は「閉じこもり」と言われています。その「閉じこもり」を少しでも無くすために

◎人と会って会話をし、大声で笑うこと

◎出掛けていって仲間と楽しい時間を過ごすこと

◎定期的に外出する機会があること

こんなことを、日常生活習慣の中に組み込めるよう、「いきいきサロン」を、市社会福祉協議会の主要事業として、平成14年度から支部社協と共に推進しています。「いきいきサロン」は、利用者（おおむね70歳以上の人を対象）10人以上で月1回以上の開催を指しています。

3月に立ち上がる予定の神明東自治会を合わせると、今年度末までに18の「いきいきサロン」が開設することになります。対象自治会数で見ると、38自治会で全体の17・6%となります。

市社会福祉協議会は、設立された「いきいきサロン」における活動のための補助と保健師、看護師による健康相談などに、平成15年度3、450千円を予算化しています。

「いきいきサロン」は、自治会の理解と協力員である民生児童委員、福祉委員のほか、多くのボランティアさんの協力があって初めて利用者と協力員の協働による運営ができるものと思っています。

市社会福祉協議会は、今後も身近な地域住民同士の自発的な支え合い活動の1つである「ふれあい・いきいきサロン」事業の推進に取り組み、高齢者を取り巻く豊かな福祉環境の形成に努めていきます。



各地の「いきいきサロン」では、笑いが絶えません
(写真右：ひまわり会)
(写真左：福寿草)